

はじめに

2012年12月

一般社団法人 旭川建設業協会会長

川 島 崇 則



当協会は、1915年（大正4年）に設立以来、社会的地位の向上と会員相互の親和協力を図りながら、社会基盤整備を通じて、地域社会と地域経済の発展に大きな役割を果たしてきた。また、各会員企業は、毎年のように発生する河川の氾濫や豪雪など、自然災害等の非常時においては、いち早く最前線で復旧作業などに取り組み、住民の安心と安全の確保を図ってきた。

2011年3月11日に発生した東日本大震災では、住民の命を守り、地域経済を支えた防波堤や道路、港湾などの公共施設の重要性が再認識されるとともに、被災者の生活再建に向け、建設会社が最前線で復旧活動に取り組んだことは記憶に新しい。

国民の安心と安全の確保、豊かさの実現、そして経済の活性化には、計画的な社会基盤の整備と適切な維持管理が欠かすことはできないだけでなく、緊急時の対応にも、専門技術者集団である地域の建設業の存在が不可欠であることを、東日本大震災という未曾有の災害が貴重な教訓として国民に伝えた。

しかし、建設業界を取り巻く環境は過酷さを増している。上川のみならず北海道、そして全国の建設業は、公共事業費が大幅に削減される中、過度な競争により利益率の低下が加速し、経営環境悪化による将来への不透明感が強まり、企業として明日への希望を見いだせないでいる。そして、地域の基幹産業である建設業の衰退は、地域経済や雇用に深刻な影響を及ぼしている。

当協会では、社会経済環境が急激に変化し、東日本大震災を契機に、社会基盤と建設業の役割に対する国民の関心が高まる中、地域を支え、地域と共に生きてきた産業として、明確なメッセージを打ち出すことの必要性を認識し、今回、協会と会員企業の果たすべき役割と今後の在り方を戦略ビジョンとしてまとめた。

上川地方は、北海道第2の都市である旭川市が中心に位置し、北には名寄市と士別市、南には富良野市という、各ブロックに地域の拠点都市が存在し、それぞれの地域の特徴を生かした農業や林業、観光業などの産業が多様な商品やサービスを提供している。これらの多くは、道内ではもちろん、全国的なブランドとして定着し、地域経済の活性化を支えている。

今回の戦略ビジョンでは、魅力ある建設産業を再構築することが、次世代に夢と可能性を与えることと確信し、「協働」「連携」「協調」「再生」の4つをキーワードに、理念と具体的な取り組みなどを「基本方針」「活動戦略」「活動戦術」としてまとめた。

なお、策定の際には、全国そして北海道の中の上川地方という視点、会員企業の生活と経営の場である地域があってこそ建設業が成り立つという、地域との共生の観点を特に重視し、この地域の特性と直面する課題などを踏まえた当協会独自の戦略ビジョンとなるよう特に留意した。



戦略ビジョン実現し上川を支える産業へ

北海道開発局長 関 博 之

建設業の皆様には、平素から、北海道開発事業の推進につきまして、御支援と御協力をいただいておりますことに、厚く御礼申し上げます。

また、災害時においては、「地域の防災力の直接の担い手」として迅速な災害対応、早期復旧の中心的役割を担っていただいていることに感謝申し上げます。

この度、旭川建設業協会が上川地域の特性と特徴を踏まえ、地域と共に歩んできた産業として、今後のあり方を戦略ビジョンとして策定されましたことに敬意を表します。

この戦略ビジョンは、4つのキーワードとして「協働」、「連携」、「協調」、「再生」を掲げています。地域住民との協働、国や地方自治体との連携、企業間の協調、活力ある建設産業としての再生を図るものであり、誰もが安心して暮らすことのできる国土づくりなどへの取組を地域と共に展開していくと結ばれているなど、非常に意義深いものであります。

国土交通省としても、「建設産業の再生と発展のための方策2011+2012」の提言を受け、国土づくり・地域づくりの担い手として建設産業に期待される姿として、将来的にも地域を支え得る足腰の強い建設産業の構築などを目指し、様々な取組をしているところであります。

北海道開発局においても、地域の課題やニーズを踏まえた入札・契約方式の改善や、現場における生産性の向上を図るための「施工効率向上プロジェクト」、工事設計図の品質確保に向けての「業務成果品質向上プロジェクト」を推進するとともに、経営の改善、革新に役立つ建設産業支援についても、きめ細やかに取り組んでおります。

北海道は、風水害、地震災害、火山災害、雪害等の発生リスクが高い地域であり、かつ、広域であるため地域ごとに異なる事情を抱えております。

この北海道をより安全・安心に暮らせる地域にするため、災害に強い基盤整備を進めるとともに、災害発生時において、迅速・適切な対応を確実に実施する建設業は欠かせない存在であり、我々にとって重要なパートナーであると認識しております。

戦略ビジョンの実現に向け、建設業が持つ様々な技術力、ノウハウ、機動力などを活かし、食と観光で北海道の中心的な役割を担う上川地域を支える産業として、「北海道力」のアップに貢献されることを祈念いたします。



全道の建設業界にも大きな意義

北海道知事 高橋 はるみ

「旭川建設業協会戦略ビジョン」を発行されるにあたり、一言ご挨拶申し上げます。
一般社団法人旭川建設業協会川島会長をはじめ、会員の皆様には、日頃から道政の推進に格別なるご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

上川管内は、全道2番目に多い人口を占め、旭岳を主峰とする大雪山系などに囲まれ、それを源とする石狩川などが流れ、本道農業の中心地として広大な沃野を形成しており、豊富な森林資源を活かした旭川家具など木製品製造などが盛んに行われ、そして雄大な自然や温泉などの観光資源を有し、道内外から多くの観光客が訪れ、また、テレビ・映画のロケが行われるなど全国的にも有名な地域であります。

このような地域において、貴協会におかれましては、1915年（大正4年）の設立以来、社会基盤整備や自然災害等の発生時には、いち早く最前線でご活躍され住民の安全・安心を守るなど、地域社会と地域経済の発展に多大なる役割を果たしてこられたことに、深く敬意を表しますとともに、心から感謝申し上げます。

さて、本道の建設産業は、建設投資の大幅な減少に加え、加速する人口減少や少子高齢化といった社会経済情勢の中にあって、厳しい経営環境に置かれ、さらに、将来への不透明感などから次世代を担う人材の確保・育成など、様々な課題を抱えています。

もとより、建設業は地域の基幹産業として地域経済を支え、災害活動など緊急時における地域の安全・安心の確保など、道民の暮らしには欠かせない大変重要な役割を担っています。

道としましては、本道の建設業が様々な変化にも柔軟に対応し、地域の経済や雇用を支えるとともに、地域の安全・安心を担い地域と連携しながら活力ある持続可能な地域づくりに、今後とも大きな役割を果たし持続・発展していけるよう、建設産業の支援施策に基づき、引き続き、業界の皆様と連携しながら、様々な取組を進めてまいりたいと考えています。

この度、貴協会におかれまして、全国そして北海道の中の上川という視点、地域との共生という観点を特に重視し、「協働」、「連携」、「協調」、「再生」の4つをキーワードとして、果たすべき役割と今後の在り方を示した「旭川建設業協会戦略ビジョン」を策定されますことは、今後の地域の発展に大きく寄与するとともに、上川地方のみならず、全道の建設業界にとっても、大変意義のあるものと考えています。

終わりに、貴協会のますますのご発展と会員の皆様のご健勝を心からご祈念申し上げますとともに、今後とも本道の発展にご協力を賜りますようお願い申し上げます。



活力と魅力あふれるまちづくりに期待

旭川市長 西川 将人

この度、旭川建設業協会による「旭川建設業協会戦略ビジョン―地域と共に―」が発刊されますことを心からお喜び申し上げます。

貴協会は大正4年に旭川請負人組合として創設されて以来、社会基盤の整備を通じて、道北の拠点都市・旭川の発展に大きく貢献してこられました。

積雪寒冷地である本市において、長年にわたり受け継ぎ、培われてきた高い技術力は、近年ではロシア・サハリン州やモンゴルにおいても注目を集めるなど、各方面から高い評価が得られているところであります。このことは皆様方の技術や品質の向上に向けた不断の御努力の賜物であり、衷心より敬意を表しますとともに、地域に根ざした事業展開とビジネスチャンスの拡大により、業界がますます振興発展されますことを期待申し上げます。

さて、昨年3月に発生した東日本大震災は、私たちの意識や暮らしに大きな変化をもたらしております。防災意識はかつてない高まりをみせており、市民の安心安全をいかに確保するかという観点で、行政に対するニーズも一層大きくなっております。

そうした意味において、生活道路や橋をはじめ、私達の日常生活に密接に関わる分野において事業活動を展開され、市民が安心して暮らせるまちづくりの基盤を築いている皆様が担っている役割はますます重要になっていくものと考えております。

こうした中で、貴協会が今日的な課題や地域の特性を踏まえ、「旭川建設業協会戦略ビジョン」をとりまとめられましたことは、大変意義のあることと存じます。昨今の建設業界を取り巻く状況は極めて厳しいものと認識しておりますが、「協働」「連携」「協調」「再生」の4つのキーワードを掲げ、業界が一丸となって活力と魅力あふれるまちづくりを見据えた御活動を展開されますことは、大変心強いことと受け止めており、貴協会におかれましては、今後とも道北の拠点都市・旭川の一層の発展に向け、更なるお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びになりますが、貴協会がますます御発展されますとともに、関係の皆様方の一層の御健勝と御活躍を心から祈念申し上げ、発刊に寄せてのお祝いのことばとさせていただきます。